

＊ ＊ごあいさつ＊ ＊

本日はお忙しい中、 足をお運び頂き誠にありがとうございます。

吉村氏とは1983年に大学の学園祭で出会い、1987～1994年には六本木のストライプハウス美術館で行われた展覧会「SOUND GARDEN」で、氏をはじめ“音”をモチーフにした造形作品を手がける美術家や音楽家と、作品展示やパフォーマンスを行いました。

その後も公私共にお付き合いを頂き、この度、氏の没後20年の展覧会でパフォーマンスをさせて頂く機会を得、真っ先に浮かんだのは、吉村さんと共に「遊んだ」あのとき（季節）でした。アナログからデジタルに変わろうとする時代に「音」という普遍的なモチーフと向き合いながら吉村さんが遺した大きな足跡に、デジタル全盛の今、音を様々な形で表現するアーティスト達が触れた時どのようなものが生まれるのか……このコンセプトに共鳴して頂いた方々に急遽ご協力を願い、この上演の運びとなりました。今日は、1969年に吉村さんが行ったパフォーマンス《3つのアジサイ》と楽曲《EAR WINDOW》の再現演奏もいたします。

本日この場にいらして下さった皆様、一期一会のライブパフォーマンスを、どうぞお楽しみ下さい。

渡邊 林太郎 (WAY art produce)

＊ ＊Program＊ ＊

石賀直之 パフォーマンス

インスピレーション・アーティスト Azu パフォーマンス

石川亮太 「あの季節（とき）の音と遊ぶ」のためのインストラクション集

1. プロローグ “雲” (ポストカード《Nuvola capo d’anno》より)
2. フローラ (絵楽譜《FLORA》のイメージによる)
3. 風景 (絵楽譜《nei cinque linee 〈il passaggio〉》のイメージによる)
4. イメージスコア3 (絵楽譜〈イメージスコア〉3のイメージによる)
5. 雲 (絵楽譜《nei cinque linee 〈la nuvola〉》のイメージによる)

吉村 弘 作品再現 「3つのアジサイ」
「EAR WINDOW」

ファイナル・パフォーマンス 「Interference」

＊ ＊Profile＊ ＊

石賀 直之 (パフォーマー／ジャズサックス奏者)

東京造形大学にて教鞭をとる傍ら、オリジナル楽器を使い美術と音楽を融合させたパフォーマンスを行う。
今回は自身の手によるオリジナルの音具を使い、独自の世界を表現。

Azu (インスピレーション・アーティスト)

鎌倉を拠点に、その場の環境に合わせた即興演奏を行うインスピレーション・アーティスト。今回は吉村氏の作品から受けるインスピレーションをサクソフォンによる即興演奏で表現。

石川 亮太 (作曲家)

「生楽器ならではの情感豊かな音楽」に強いこだわりを持ち活動する作曲&編曲家。ソロからオーケストラまでの多様な楽器編成に向け、芸術性の高さと親しみやすさを兼ね備えた作品を作り続けている。
今回は吉村氏の絵楽譜より受けたインスピレーションから組曲を作曲、自身も鍵盤ハーモニカで演奏に参加する。

鈴木 新 (クラシックサックス奏者)

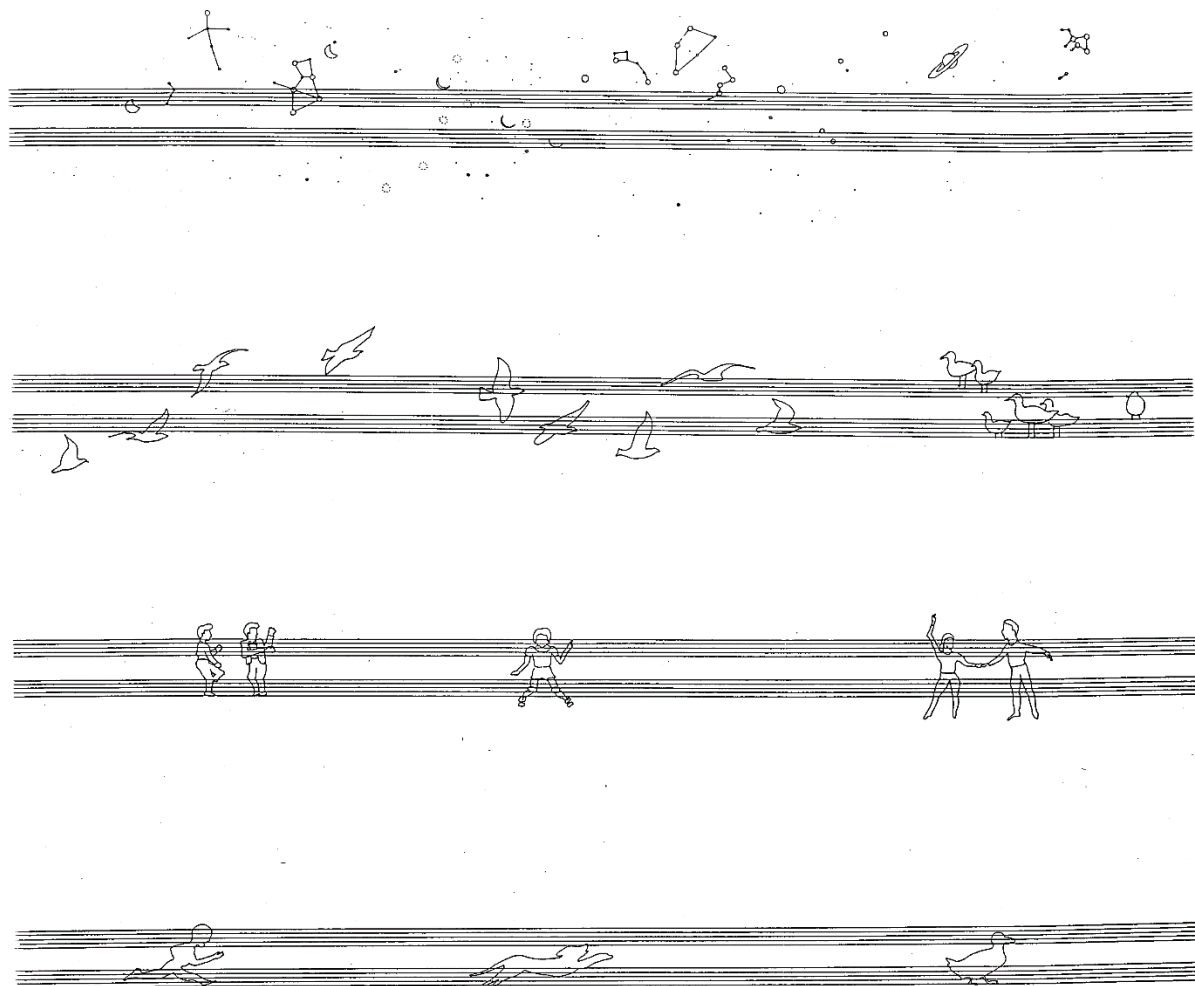
昭和音楽大学にてサクソフォンを学び、現在高校での音楽指導を行う傍ら、クラシックサックスを演奏。
今回は石川亮太氏の楽曲及び吉村氏の楽曲演奏にリコーダーとサクソフォンで参加。

渡邊 久仁子 (ピアニスト)

湘南を中心に器楽／声楽の伴奏、室内楽の演奏等、種々のコンサート活動を行っている。吉村氏との親交もあり、今回はトイピアノとリコーダーを担当。吉村氏の楽曲演奏にも参加する。

渡邊 林太郎 (造形作家)

美術作品に音や動きを取り入れた“キネティック・アート”を手がける。グループWAYを設立、全国の様々な場所にパブリックアートを仕掛ける。
今回のイベントをプロデュースするとともに、吉村氏の作品《Sound Tube》及び《Sound Planet》等を用い“吉村弘の世界”を再現する。



「吉村弘 風景の音 音の風景」関連イベント

「あの季節（とき）の音と遊ぶ」

2023年8月20日 11:00-12:00

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館



The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama

神奈川県立近代美術館